

資料2

令和3年度 社会教育事業の実施状況

資料3

令和4年度 社会教育事業の計画について

公民館事業(参考資料)

山形市教育委員会
社会教育青少年課

公民館事業

新型コロナウイルス感染症への対応

■令和2年度

4月7日～5月6日

【全国】新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言



公民館の対応

4月9日～5月17日

市内公民館臨時休館 ※市有施設一斉休館に合わせた対応

- ・休館解除後は、「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」や市の方針に則り、感染状況を見ながら、貸館・事業における「定員」や「使用時間」の制限を徐々に緩和。
- ・感染拡大防止のための「チェックリスト」や「貼紙」を作成。使用後は利用者による消毒を依頼するなど、施設管理者・利用者の両面で感染対策を行いながら運営。
- ・しかしながら、R2年11月末からの感染拡大(第2波)を受け、市の方針として、高齢者対象の事業については、中止または延期とせざるを得なかった。

■ 令和3年度

3月22日～4月25日【第3波】

【山形県・山形市】緊急事態宣言

4月12日～高齢者施設入所者を皮切りに、山形市民への1回目ワクチン接種を開始。

霞城公民館・東部公民館・江南公民館も集団接種会場となりました。

・基本的な感染対策を徹底した上で、貸館・事業は継続

※市の方針としては、市有施設の一斉休館等の対応はせず

・貸館については、保健所長と協議し、感染リスクの高い活動(※)については制限(※大声、密着密接、マスクを外す活動は貸館不可)

8月1日～使用制限の一部緩和

- ・合唱、詩吟などの大きい声を発する活動＝○貸館可
- ・社交ダンスなどの密着・密接が生じる活動＝○貸館可
- ・吹矢、楽器演奏などのマスクを外す活動＝×貸館不可

マスクの着用(不織布マスク推奨)や各活動のガイドラインの遵守を条件として…

- ・事務室には「活動中マスクを外していた」「密になって活動していた」等の報告もあり、利用者の感染対策が不十分な場面が見られ職員が注意する場面もあった。
- ・一方、公民館での活動ができない団体からは不満の声も…
→利用者の声を丁寧に聞き取り、適宜、保健所長に相談しながら、感染状況に応じて、公民館使用の制限・緩和の内容を検討

令和3年度

8月20日～9月15日【第5波】※当初9月12日までだった期間が延長

【山形県】感染拡大特別集中期間



再び、感染リスクの高い活動について使用制限を強化

- ・合唱、詩吟などの大きい声を発する活動 = ×貸館不可
- ・社交ダンスなどの密着・密接が生じる活動 = ×貸館不可
- ・吹矢、楽器演奏などのマスクを外す活動 = ×貸館不可

【山形県】感染拡大特別集中期間 終了



使用制限の一部緩和

- ・合唱、詩吟などの大きい声を発する活動 = 9/16～貸館可
- ・社交ダンスなどの密着・密接が生じる活動 = 9/16～貸館可
- ・吹矢、楽器演奏などのマスクを外す活動 = 10/6～貸館可

※マスクを外さないと出来ない活動についても、各種ガイドラインの厳守と、マスクを外すのは最小限とすることを条件として緩和

■R3年10月19日 公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改訂

使用制限の緩和→定員の制限を撤廃

- ・1/2程度に制限していた部屋の定員を平常時定員まで引き上げ

■ 令和3年度

R4年1月27日～2月20日【第6波】

【山形県】まん延防止等重点措置適用



再び使用制限を強化

- ・部屋の使用人数を2分の1に制限
- ・合唱、詩吟などの大きい声を発する活動 = ×貸館不可
- ・社交ダンスなどの密着・密接が生じる活動 = ×貸館不可
- ・吹矢、楽器演奏などのマスクを外す活動 = ×貸館不可
- ・呼気が上がると思われるスポーツ = ×貸館不可

市有体育施設の休館に
合わせた対応

R4年2月21日～3月6日

※制限内容継続

【山形県】再拡大(リバウンド)防止特別対策期間

【山形県】リバウンド防止特別対策期間 終了

リバウンド防止特別対策期間は終了したものの、学校内での感染が収まらずクラスターが断続的に発生。県教育委員会では、部活動やスポ少活動の制限を継続。



一部利用制限を解除

- ・部屋の定員制限を解除(平常時へ戻す)
- ・マスクを外さないと出来ない活動等についても、対人距離等に特に注意していただいた上で貸出可
- ・スポーツ少年団の運動、呼気の上がる活動による利用は不可(継続)

※R4.4.7 部活動・スポ少の活動制限緩和⇒公民館の制限も解除

R3公民館事業

新型コロナウイルス感染症への対応

「社会教育」「公民館運営」＝ ウィズコロナ

- ・基本的な感染症対策を徹底しながら、出来ることを出来る時期にやっていく
(ハード面、ソフト面でのリスク評価)
- ・安易に「中止」「延期」にならないような事業の工夫

コロナ2年目の利用者の変化

- ・マスク着用、手指消毒や換気、
使用後の利用者による消毒作業が定着 → 新しい生活様式の定着
- ・県内で感染者が増えてくると、利用団体内で
実施の可否を協議し、自主的に貸館をキャンセルし、活動を自粛する団体も多くなった → 感染対策に対する各個人の意識の向上

R4は・・・

ウィズコロナ ～ アフターコロナ

- ・必要な感染対策は継続しながら、コロナ前の活気の再構築を図っていく
- ・新たな市民ニーズや地域課題に応える事業・講座を企画していく

課題

- ・公民館が新型コロナワクチン接種会場となる場合、一部貸館の制限を行わざるを得ない状況
- ・事業参加者の増加・利用率の向上を図っていきたいが、駐車場不足の問題もあり

公民館事業の実施状況



輪番により各公民館が毎年テーマに沿った講座を実施。身近な公民館で様々な学びを得られる機会を創出しています。

(1) 社会的要請学習

No	学習テーマ	R3担当
①	ICT「 役立つICT活用術 」	中央
②	ライフデザイン「 自分らしく 今を楽しむ 生活術 」	中央 霞城
③	環境・エネルギー「 行って見て聴いて実践エコライフ 」	東部 西部
④	健康づくり「 わたしと家族の健康生活 」	南部 元木
⑤	防災・防犯「 防災・防犯テクニック術 」	北部 江南
⑥	若者支援 「 リア塾 」	社会教育青少年課 全公民館
⑦	子ども支援「 体験子ども教室 」	社会教育青少年課 全公民館

前年度比較

	R2	R3	比較
事業数	26	33	7
回数	62	95	33
参加者数	805	1,390	585

令和3年度も、コロナ感染症の影響で一部中止となった事業もありましたが、事業毎にリスク評価をしながら、昨年度と比較して多くの事業を実施することができました。

◆社会的要請学習の実施状況

①ICT「役立つICT活用術」(中央)

ねらい

パソコン操作及びスマートフォン等のICT機器の基礎的な操作や活用方法を学び、学んだ技術を生かし、日常生活を豊かにしていくことができるようにする。

事業名	講座回数	参加者数
スマートフォン講座	4	78
成人パソコン講座	18	156
高齢者パソコン講座	24	204



スマートフォン講座



成人パソコン講座



高齢者パソコン講座

②ライフデザイン「自分らしく 今を楽しむ 生活術」(中央・霞城)

ねらい

生涯にわたって充実した人生を送るために必要なライフデザインのスキルや自分らしく、日常生活を充実させる生活術を学ぶ。

事業名	講座回数	参加者数
「困った時に備えるノート」の書き方講座	1	25
親子で学べる「おこづかい」講座	1	11
葬祭マナー講座	1	17
試せる・楽しめる食生活デザイン講座	1	7



試せる・楽しめる食生活デザイン講座



親子で学べる
「おこづかい」講座

③環境・エネルギー「行って見て聴いて実践エコライフ」 (東部・西部)

ねらい

環境保全や循環型社会について身近な所から実践する取り組みを学んだり、地域の豊かな自然と直接触れ合う体験をしたりすることを通して、環境と生活への関心を高める。

事業名	講座回数	参加者数
気軽に体験！気軽に実践！ ～エコなドライブ教室～	1	7
親子リサイクル工作教室	1	11
エコ施設見学会	1	11
気象講座	1	18



エコなドライブ教室



エコ施設見学会

④健康づくり「わたしの家族の健康生活」(南部・元木)

ねらい

心身の健康増進や病気・けがの予防の他、認知症を含む高齢者の病気への理解や、現代的な健康課題の解決について学ぶ。市が推進する「すくすく(SUKSUK)生活促進事業」とも連携し、健康増進を推進していく。

事業名	講座回数	参加者数
免疫力を高める食事と栄養	1	34
コロナに負けない心と体の健康づくり	1	29
「おなかの菌学」で絶好腸！	1	19
五感を通じて脳を活性化「美肌菌を増やそう！」	1	12
筋膜はがしでゆとりの体づくり(上肢編)	1	19



免疫力を高める
食事と栄養講座



「おなかの菌学」で絶好腸！



筋膜はがしで
ゆとりの体づくり

⑤防災・防犯「防災・防犯テクニック術」(北部・江南)

ねらい

災害発生の原因や社会と地域の災害対策の実態や災害への備え、実践的な対処の仕方等を学ぶとともに、様々な犯罪事例を知り、身の守り方を学ぶことにより、市民の防災・防犯意識の向上を図る。

事業名	講座回数	参加者数
「市民防災センター」防災体験見学会	1	18
子どもを守るための防犯講座	1	11
「災害に備える」～気象台から見た自然災害～	1	10
災害食クッキング教室	1	6
「3.11」から11年「防災」再確認講座	1	24



「3.11」から11年「防災」再確認講座



災害食クッキング教室

⑥若者支援事業「リア塾」

ねらい

若者が、様々な講座を連続して体験することで、学び・体験・交流により「仲間」「楽しみ」「自信」を充実させ、「自分力」を高めるとともに、「地域づくりに参画する人材の育成」をめざす。

事業名	申込者数	参加者数
はじめまして！リア塾スタート	14人	13人
演劇ワークショップでコミュニケーション力アップ！		13人
アウトドア入門		7人
楽しく！仲良く！ビリッカー体験		11人
ボードゲームを学び、おうち時間を楽しもう♪		10人
クレッセントリース制作		10人

第5回講座では、
山形中央高校生が開発
した「山形版カタン」
を体験しました



第2回演劇ワークショップ



第5回ボードゲーム



第6回クレッセントリース制作

⑦子ども支援事業「体験子ども教室」

ねらい

週末や長期休業中に文化活動やスポーツ、地域の方との交流やボランティアを活用した学習支援など、豊かな体験や学習の機会を提供することで、子どもの自立性や社会性を育む。

【体験子ども教室5つのねらい】

①伝統文化 ②表現 ③体力・健康 ④ものづくり ⑤探究

事業名	実施主催	講座回数	参加者数
子どもプログラミング教室	中央	1	7
親子で楽しむお茶講座	東部	1	6
わくわくどきどき ～ 子ども絵画教室 ～	西部	2	24
スポーツチャンバラ教室	南部	2	29
絵画体験子ども教室	北部	3	59
親子そば打ち教室	霞城	1	4
親子お菓子づくり教室		1	4
こどもダンス教室	元木	3	59
ふれあい広場ビッキの会	社会教育 青少年課	4	53
子ども学習会		5	292
山形市子ども将棋教室		2	62

⑦子ども支援事業「体験子ども教室」



子どもプログラミング教室(中央)



絵画体験子ども教室(西部)



親子お菓子づくり教室(霞城)



子ども学習会(社教)

◆社会的要請学習

◆実績

	R2	R3	比較
事業数	26	33	7
回数	62	95	33
参加者数	805	1390	585

◆事業評価

- ・ICT事業への需要、健康意識の高まりや、ステイホームでも楽しめる内容等、社会的ニーズに応じた講座を実施したことで、「内容満足度」「講師満足度」で高評価。
- ・コロナの影響もあり、事業の延期や中止もあったが、昨年度を大きく上回る事業を実施し、多くの市民に学びの場を提供できた。

➡企画者のニーズの捉えと市民のニーズのミスマッチに留意し、アンケートで寄せられた市民の希望を講座の企画に反映していく

(2) 地域づくり学習

地域の課題や実情を踏まえ、子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに対応した学習機会や、世代間交流による地域住民の連帯感を高める機会を提供する

◆ 地域住民相互の ふれあい交流事業

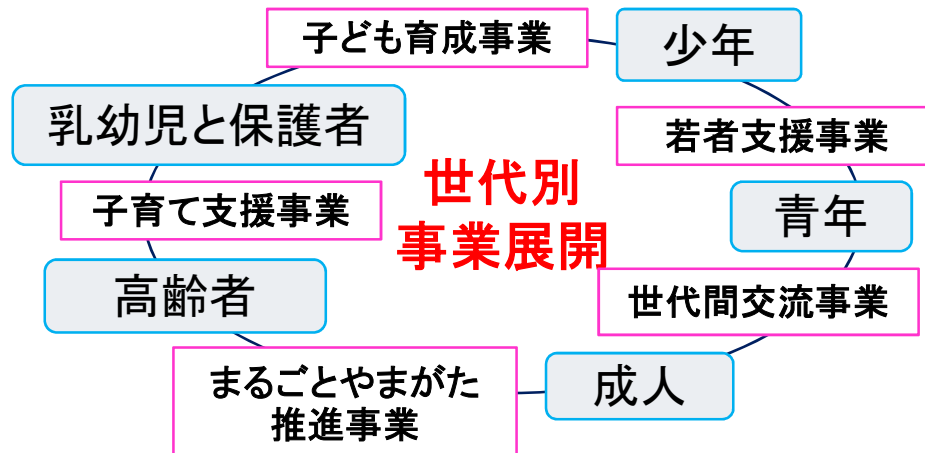
(公民館企画型)

- ・より身近なテーマで親しみやすい事業を企画
- ・多くの地域住民が集い、世代間交流を促進する機会の創出

◆ 地域と共に考える まちづくり事業

(地域共同企画型)

- ・地域の課題を共有し、地域団体と共同して学習プログラムを構築
- ・事業実施後、課題と成果を共有し次年度事業につなげていく



【例】

- ・地区社会福祉協議会や地域包括センターとの共同での「100歳体操」「認知症予防教室」「健康講座」等
- ・町内会と共同での「救命救急講座」
- ・公民館利用者団体連絡協議会と共同での「介護勉強会」

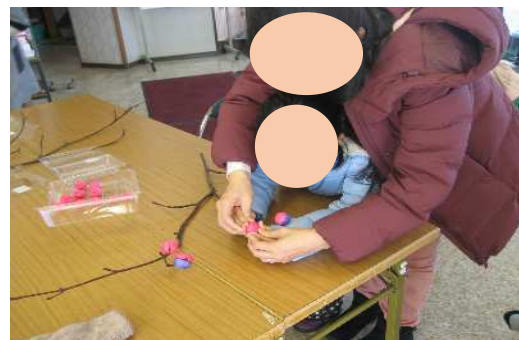
……等々

◆地域住民相互のふれあい交流事業(公民館企画型)の実施状況

子育て支援事業

	R2	R3	比較
事業数	5	7	2
講座回数	9	10	1
参加者数	137	164	27

核家族化や地域社会のつながりの希薄化等により、子育ての悩みや不安を抱えたまま孤立してしまうことがないよう、親子のふれあいや参加者同士の交流の機会を提供しました。



親子でだんごさし体験
(江南)

子ども育成事業

	R2	R3	比較
事業数	17	22	5
講座回数	33	45	12
参加者数	508	884	376

異年齢の子供と集団で遊ぶ機会や体験的な学びが減っていることから、子どもたちが様々な体験をしたり交流する機会を提供しました。



小学生おもしろ科学
実験教室(中央)



消しゴムハンコを作って
みよう(南部)

若者支援事業

	R2	R3	比較
事業数	8	7	-1
講座回数	13	8	-5
参加者数	160	85	75

感染防止対策として、料理教室ではその場で食べずに持ち帰りを原則としました。

「スパイスカレーの作り方」講座は参加率100%、軽運動講座(ヨガやピラティス)の講座も参加率90%以上となりました。引き続き若者のニーズや課題を考慮した講座となるよう工夫していきます。



そば打ち入門(西部)



ハートオブヨガ(東部)

まるごとやまがた事業

	R2	R3	比較
事業数	18	20	2
講座回数	25	31	6
参加者数	561	538	-23

郷土の「地理」「歴史」「文化」「自然・環境」等の各テーマで講座を展開しています。特に、郷土史講座は定員を超える応募があり人気です。



歴史発掘物語(西部)



簡単漬物講座(霞城)

その他事業(成人・高齢者等対象)

成人対象事業では、料理教室や、正月の生け花、終活やキャッシュレスに関する講座等、日常生活に役立つ内容を中心に事業を実施しました。

高齢者対象事業では、スマートフォンの基礎講座や、地域団体との共催で美容・健康講座等を実施しました。

	R2	R3	比較
事業数	27	44	17
講座回数	65	116	51
参加者数	1826	2742	916

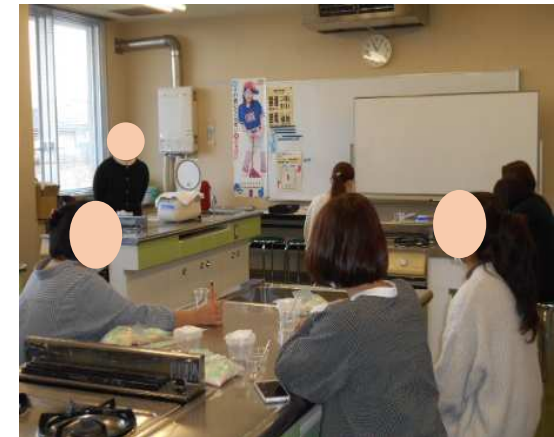


はじめてのノルディック・ウォーキング(西部)

コンサートは例年の合唱ではなく、感染リスクの少ない楽器演奏の鑑賞に変更しました



北部☆夏コンサート(北部)



知るほど凄い！麴甘酒のチカラ(元木)

◆地域と共に考えるまちづくり事業(地域共同企画型)の実施状況

地区町内会、公民館利用者団体連絡協議会をはじめ、地区社会福祉協議会や地域包括センター等の地域団体と共催して実施しました。

多くの公民館が、「健康」「介護」「認知症」等の高齢者に関わるテーマの事業を実施したほか、「救命救急講座」(西部)、「歴史講話」(南部)、落語やマジックショーの観賞(元木)など、趣向を凝らした事業を展開しました。

	R2	R3	比較
事業数	10	12	2
講座回数	58	122	64
参加者数	944	2214	1270



南部地区感動再発見
水野三郎右衛門元宣を語り継ぐ
講話会(南部)



マメで達者で100歳体操(西部)



みんなアズまれ認知症予防教室
(中央)



高齢者向け健康講座
落語観賞(元木)

中央公民館 ホール・ギャラリー事業

中心市街地の賑わい活性化につながる事業として、企画・実行しています。

令和3年度は、第一地区町づくり振興協議会と共催して、第一地区の住民・小学校児童・幼稚園児の作品を展示する「第一地区 趣味の作品展」や、七日町商店街振興組合と共催し「七日町商店街タイアップ」としてアニメ上映会を実施。また、中止事業の代わりに「ピアノ弾き比べ体験講座」や「ホール体験講座」と新規講座を実施しました。

事業内容	参加者数
第一地区「趣味の作品展」 【第一地区住民の生涯学習活動の成果発表】	863人
七日町商店街タイアップ【アニメ上映会】	228人
ピアノ弾き比べ体験講座	2人
ホール体験講座	40人



第一地区「趣味の作品展」



ホール体験講座

◆地域づくり学習

◆実績

	R2	R3	比較
事業数	87	116	29
回数	207	338	131
参加者数	4952	7760	2808

◆事業評価

- ・地域のニーズに応じた事業企画により、特に「内容満足度」が高評価
 - ・共催団体からの辞退、県外講師、他校との交流制限等、外的要因で中止や延期せざるを得ない事業もあり、コロナによる影響が大きかった。
- ➡コロナ禍で様々な活動が制限されたからこそ、市民が集い、学ぶ場として、公民館が果たす役割の大きさを実感
- ➡コロナ禍でも、地域住民の生涯学習をストップさせない
万全の感染対策と事業内容の工夫を継続